
学 会 記 事

平成18年第2回日本鋳物学会・日本岩石鋳物鋳床学会 合同評議員会議事録

平成18年7月23日 15:40~16:00

神戸国際会議場 301 室

議長：藤野鋳物学会会長

書記：永井鋳物学会庶務幹事

出席者：小畑岩鋳学会会長、赤荻正樹、赤坂正秀、有馬 眞、
板谷徹丸、入船徹男、榎並正樹、大谷栄治、奥山康子、
小山内康人、工藤康弘、黒澤正紀、小暮敏博、佐藤 努、
下林典正、鈴木和博、貴治康夫、富樫茂子、留岡和重、
中井 泉、中村美千彦、松井正典、松原 聡、村上 隆、
森下知晃、柳澤教雄、山田裕久、吉田武義

議題

1. 報告事項

両学会会長より臨時総会における学会統合案の採決結果の報告があった。両学会とも統合案の提案理由の説明と質疑応答の後、起立によって採決を行い、全会一致で学会統合案が採択された。これにより、2007年9月に東京大学で行われる年会時に日本鋳物学会と日本岩石鋳物鋳床学会は統合され、日本鋳物科学会として新たなスタートをきることが決まった。

2. 審議事項

現統合ワーキンググループ、両学会新会長、評議員を中心に統合作業部会を立ち上げること、人選は、現統合ワーキンググループ、両学会新会長に一任することを承認した。
今秋できるだけ早い時期に新会長が両学会評議員会、合同評議員会を召集する必要があることを引継ぎ事項とし、その前に、統合WGを中心に、作業のタイムテーブル、作業内容のリストアップを早急に行うこととなった。また、新学会の執行部に裁量を与える余地を残す必要があるとの指摘もなされた。